平成 29 年度本州四端協議会首長会議

平成 29 年 11 月 14 日（火）に、本州最北端の青森県大間町において本州四端協議会首長交流会議が開催されました。会議では、これまでの事業経過を振り返り、今後のＰＲ活動について協議したほか、各市町から現状や重点取組について報告を行い、互いに理解を深めました。

４首長で最北端・大間崎を踏破後、大間町内の産業関係施設を視察。マグロ水揚場では、その日の朝に揚がったばかりの 110kg の「大間まぐろ」を見せていただき、その迫力に圧倒されました。また、ヒバ製品記念グッズの作成体験、大間フェリー「大函丸」船内・ターミナル、ナマコとアワビの種苗育成センター、大間原子力建設所施設の視察を行いました。

そして、「大間まぐろ」のほか、黒毛和種大間牛「陸（おか）マグロ」など、大間を代表する味覚を堪能しました。

大間町に、ぜひ一度足を運んでみてください。

また、本州の四端市町を訪問した方には、それぞれ訪問証明書（※発行場所については、各市町にお問い合わせください）が発行され、４市町分集まると、本州四端踏破証明書と記念品が贈られます。

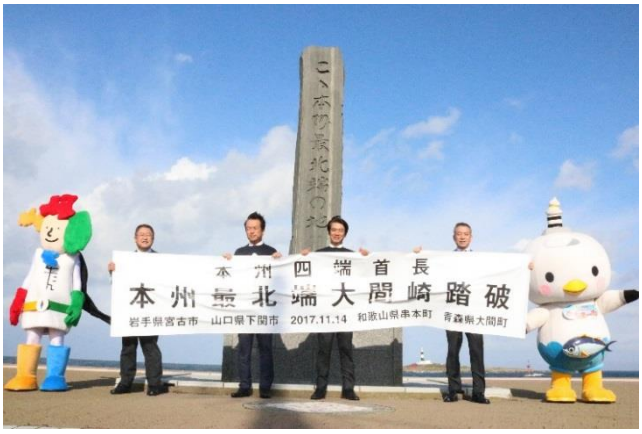
各市町とも、見て満足・食べて満足の魅力あるまちです。本州四端のまち（岩手県宮古市、山口県下関市、和歌山県串本町、青森県大間町）におでんせ（お越しください）！！

○本州四端協議会首長交流会議

○大間崎踏破

・大間崎レストハウス内でおそろいのＴシャツに着替えました。

・レストハウス内には、顔はめパネルが設置してあります。



・本州最北端の地には、マグロの一本釣りをモチーフに作られたモニュメントや最北端を示す碑が建てられています。

・右の真ん中が弁天島

・天気が良いと、北海道渡島連峰をのぞむことができます。

○大間漁業協同組合マグロ水揚場視察

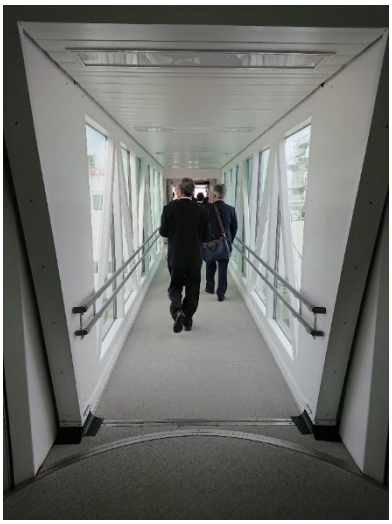
・110kg の「大間まぐろ」

○ヒバ開発株式会社・ヒバ製品記念グッズ作成体験

・ヒバ精油入りの入浴剤作成

・ヒバを使ったストラップへの絵付け体験

○大間フェリー（大函丸）船内・ターミナル視察

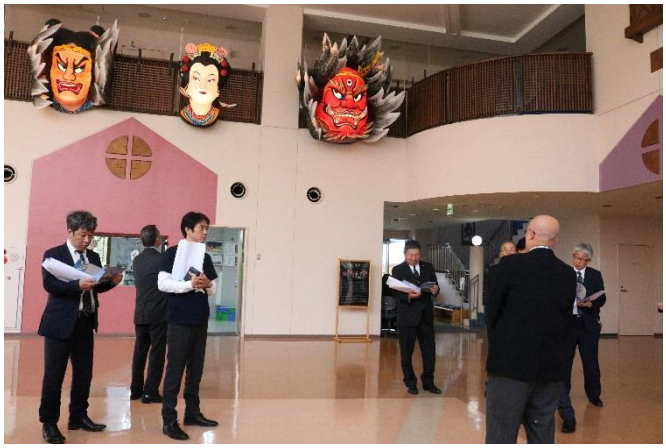


・大間－函館は 90 分（2 便/日※H30.1 現在）

・大間町民の使い方の一例：朝に出発し、函館の病院に通院。夕方に帰宅。

・フェリーは、北海道への観光客（インバウンド）の誘客につながります。

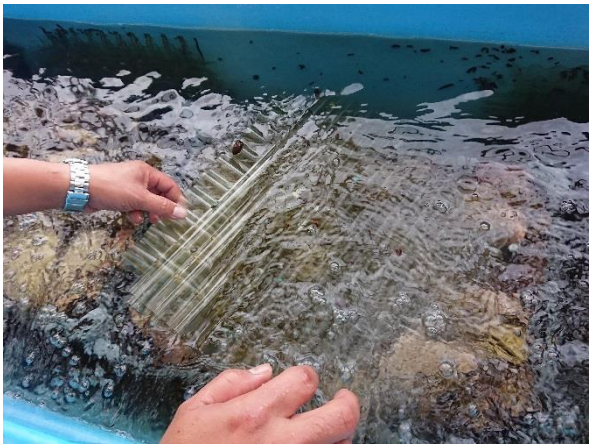
○北通り総合文化センター「ウイング」・北通り種苗育成センター・大間原子力建設所視察



・北通り総合文化センター（展示コーナー）

・北通り総合文化センター（多目的ホール）
・図書室などの文化施設のほか、屋内運動場、温水プール、展望塔も備える複合型の施設です。

・北通り種苗育成センター・なまこ種苗



・北通り種苗育成センター・なまこ、あわび種苗

・大間原子力建設所施設・運転訓練シミュレーター

・大間原子力建設所建設現場